

「炭素排出量調査サービス」の取り扱い開始について

みずほフィナンシャルグループは、グループ全体で戦略と一体的なサステナビリティへの取り組みを積極的に推進しています。みずほ銀行(中国)有限公司(以下「当行」)においても、お客さまのサステナビリティ推進に向けた取り組みを強化するために、このたび、「炭素排出量調査サービス」(以下「本サービス」)の取り扱いを開始し、JFE 商事グループの中国国内事業会社である浙江川電鋼板加工有限公司へ本サービスを提供しました。

本サービスは、当行が業務提携(2022年9月22日付MOU締結)しているSGS中国(※)のノウハウを活用し、お客さまの工場等実地の調査に基づき、取引先企業の炭素排出量を算出し、当該調査結果レポートを提供するサービスになります。

また、本サービスで調査した炭素排出量の結果は、「GHG測定ステートメント(SGSリリース)」として発行することも可能です。

当行は、脱炭素に向けた取り組みを進めるなかで炭素排出量調査の支援に取り組むことで、社会全体のカーボンニュートラルに向けた活動を支援します。なお、中国において炭素排出量調査サービスを取り扱うのは、日系金融機関として初めてです。

JFE 商事グループは、「サプライチェーンにおけるサステナビリティ基本方針」を策定し、持続性の高いサプライチェーンの構築を目指しており、今回、双方の思惑が合致したことから、同社への本サービス提供に至りました。

みずほフィナンシャルグループは、持続可能な社会の実現に向けた取り組み(サステナビリティアクション)を強化しています。環境・社会課題解決に向けて様々な知見・機能を活用したソリューション提供を通じ、SX(サステナビリティ・トランスフォーメーション)に向けて、お客さまとともに挑戦していきます。

〈商品概要〉

対象のお客様:	中国に所在する事業法人(除く個人・金融法人)
サービス概要	炭素排出量調査、及びGHG測定ステートメント(SGSリリース)発行

※SGS中国:1991年に「SGSグループ」と国家市場監督管理総局に属する中国標準科学技術グループとの合資により検査・分析・認証機関として設立。現在中国全土に90箇所の事務所と200箇所以上の実験室、16,000人以上の従業員を保有。